4. 道路整備の進め方

4-1 基本的考え方

栗原市都市交通マスタープランにおける目標を実現するため、道路整備に関する基本的な考え方を次のように設定します。

(1) 対象路線

・対象路線は本市の骨格を形成する国道、県道及び市道の幹線道路、補助幹線道路、都市計画道路とします。

(2)計画期間

- ・計画期間は、都市計画マスタープランとの整合を図り、令和4年度から概ね20年間とします。
- ・整備時期については次のとおりです。

前期: 概ね 10 年以内 (~令和 13 年度) に完了又は着手を目指すもの 後期: 概ね 11 年~20 年以内(~令和 23 年度) に完了又は着手を目指すもの

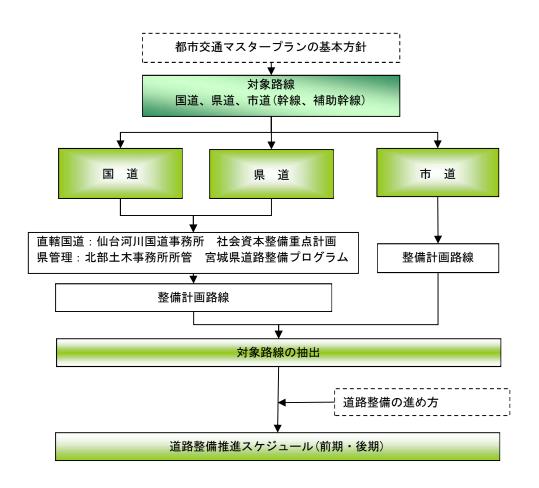


図4-1 道路整備検討フロー

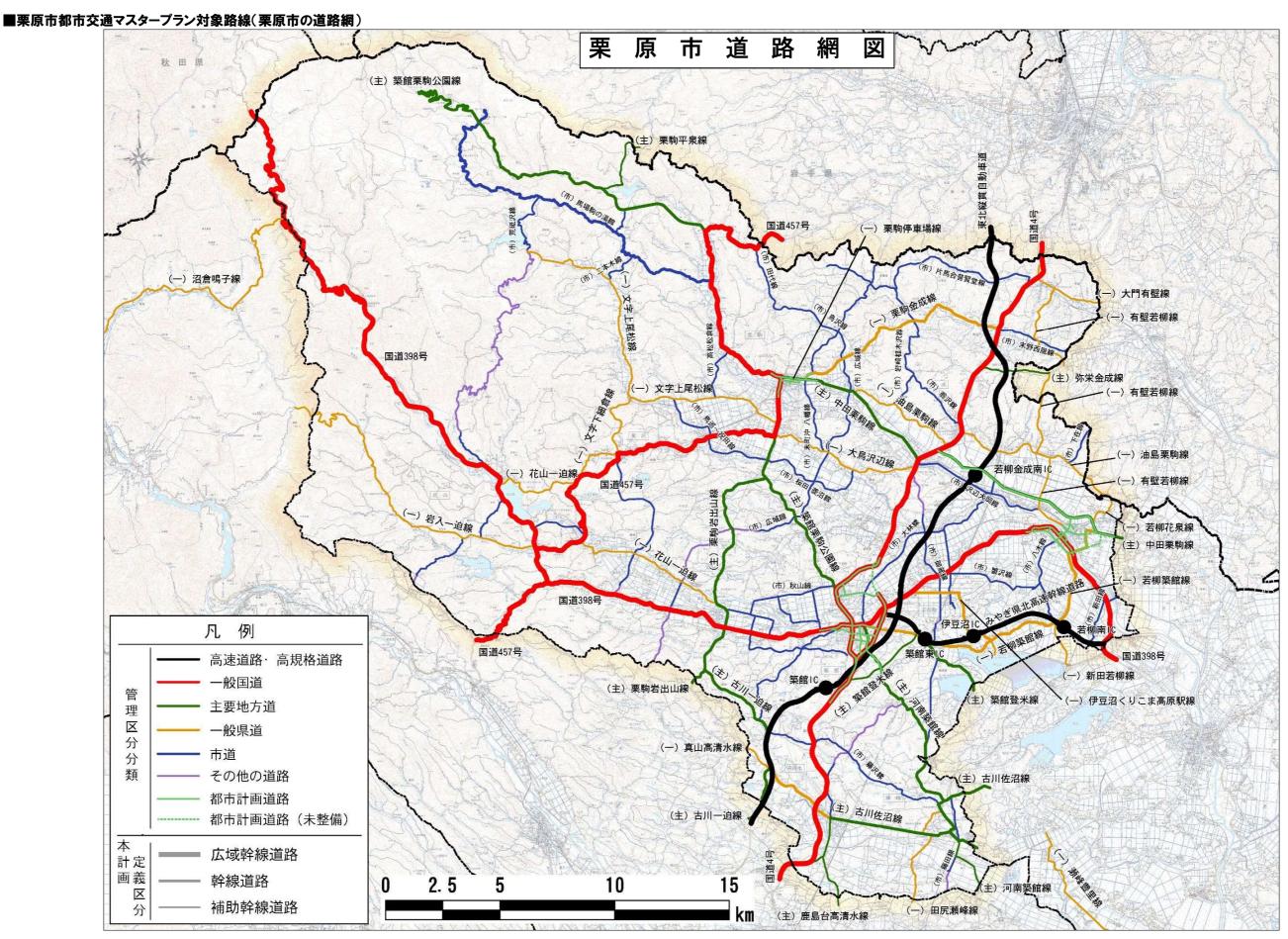


図4-2 栗原市の道路網(幹線道路、補助幹線道路)

表4-1 栗原市の道路網(幹線道路、補助幹線道路、都市計画道路)

区分	番号及び路線名	位置づけ
高速道路	東北縦貫自動車道	広域
高規格道路	みやぎ県北高速幹線道路	広域
一般国道	国道4号(現道)	広域
一般国道	国道4号(バイパス)	広域
一般国道	国道398号	広域
一般国道	国道457号	広域
主要地方道	1号 古川佐沼線	幹線
主要地方道	4号 中田栗駒線	幹線
主要地方道	17号 栗駒岩出山線	幹線
主要地方道	19号 鹿島台高清水線	補助
主要地方道	29号 河南築館線	幹線
主要地方道	36号 築館登米線	幹線
主要地方道	42号 築館栗駒公園線	幹線
主要地方道	48号 弥栄金成線	補助
主要地方道	49号 栗駒平泉線	補助
主要地方道	59号 古川一迫線	幹線
一般県道	167号 真山高清水線	幹線
一般県道	175号 田尻瀬峰線	補助
一般県道	176号 若柳築館線	幹線
一般県道	177号 新田若柳線	補助
一般県道	178号 花山一迫線	補助
一般県道	179号 文字上尾松線	補助
一般県道	180号 文字下細倉線	補助
一般県道	181号 大鳥沢辺線	補助
一般県道	182号 栗駒金成線	幹線
一般県道	183号 若柳花泉線	補助
一般県道	185号 有壁若柳線	補助
一般県道	186号 油島栗駒線	補助
一般県道	187号 大門有壁線	補助
一般県道	215号 栗駒停車場線	補助
一般県道	237号 瀬峰豊里線	補助
一般県道	248号 沼倉鳴子線	補助
一般県道	249号 岩入一迫線	補助
一般県道	268号 伊豆沼くりこま高原駅線	幹線

区分	番号及び路線名	位置 づけ
1級市道	101号 沢辺大岡線	補助
1級市道	102号 大林線	補助
1級市道	106号 御蔵線	補助
2級市道	107号 蟹沢南沢線	補助
その他の市道	108号 上照越線	補助
2級市道	109号 築館南沢線	補助
その他の市道	109号 築館南沢線	補助
その他の市道	110号 萩沢線	補助
1級市道	111号 秋山線	補助
2級市道	115号 六角細倉線	補助
1級市道	117号 栗原中央線	補助
2級市道	118号 鳥沢一関線	補助
その他の市道	118号 鳥沢一関線	補助
2級市道	1203号 加倉線	補助
その他の市道	1337号 新田成田線	補助
その他の市道	1404号 曽内熊狩線	補助
その他の市道	1429号 小深沢線	補助
その他の市道	1448号 左足本木線	補助
1級市道	2102号 下在線	補助
1級市道	2113号 八木線	補助
1級市道	2114号 新田線	補助
その他の市道	2364号 大林9号線	補助
その他の市道	2528号 八木5号線	補助
その他の市道	2665号 若石大橋線	補助
1級市道	3102号 馬場駒の湯線	幹線
1級市道	3105号 荒砥沢線	補助
1級市道	3115号 二本木線	補助
その他の市道	3138号 宗七坂線	補助
1級市道	3222号 田代線	補助
1級市道	3224号 鳥沢線	補助
1級市道	3230号 三島徳沢線	補助
2級市道	3231号 三島山王線	補助
1級市道	3302号 高松松倉線	補助
1級市道	3336号 末町沖八幡線	補助

区分	番号及び路線名	位置 づけ
1級市道	3513号 広域線	補助
1級市道	3526号 桜田菱沼線	補助
その他の市道	4199号 善光寺来光沢線	補助
2級市道	5020号 清水目~嶋躰線	補助
1級市道	5102号 東北線	補助
2級市道	5164号 河原線	補助
1級市道	6005号 藤田線	補助
1級市道	6087号 藤沢線	補助
その他の市道	6087号 藤沢線	補助
1級市道	6095号 五輪堂山公園線	補助
1級市道	7001号 鳥巡~祝田線	補助
1級市道	8009号 岩崎柧木沢線	補助
1級市道	8038号 片馬合普賢堂線	補助
2級市道	8060号 末野日向線	補助
その他の市道	8064号 普賢堂線	補助
1級市道	8068号 翁沢線	補助
1級市道	9002号 蟹沢線	補助
その他の市道	9018号 鴻の巣線	補助
1級市道	9029号 大峯線	補助
その他の市道	9283号 新熊谷獅子ケ鼻線	補助
1級市道	9505号 芦の口~上原線	補助
その他の市道	9514号 鯨森~荒谷線	補助
1級市道	9525号 御堂~小手沢線	補助
2級市道	1129号 滝野~合道線	補助
その他の市道	5042号 川内~山崎線	補助
2級市道	4063号 影の沢八重壁線	補助

区分	番号及び路線名
都市計画道路	3・3・1 国道幹線
都市計画道路	3・4・2 源光町田線
都市計画道路	3・4・3 一迫南線
都市計画道路	3・4・4 桜町線
都市計画道路	3・4・6 町浦中田線
都市計画道路	3・5・13 中央線
都市計画道路	3・5・14 一迫北線
都市計画道路	3・5・15 駅前大通線
都市計画道路	3.5.16 小山内沢線
都市計画道路	3・4・7 石越駅四ツ谷線
都市計画道路	3・4・8 新山十文字線
都市計画道路	3・4・9 川北川南線
都市計画道路	3・4・10 我門橋元線
都市計画道路	3・4・11 新山福岡線
都市計画道路	3・5・17 金成若柳線
都市計画道路	3・5・18 新山下町線
都市計画道路	7・6・1 若柳元町線
都市計画道路	7・6・2 上町下町線
都市計画道路	3・4・12 末町三島線
都市計画道路	3・5・19 末町上小路線
都市計画道路	3・5・20 四日町馬場通り線
都市計画道路	3・6・21 茂庭町田町線
都市計画道路	3・6・22 岩ケ崎駅前線

4-2 整備計画路線

先の栗原市の道路網を構築する整備計画路線の状況、事業の概要は次のとおりです。

1) 国土交通省東北地方整備局仙台河川国道事務所所管事業

<仙台河川国道事務所所管事業 令和3年度掲載事業>

番号	夕称	サビタ	事業概要	事業規模	着手年度	実施予	定時期
田石	名称 地区名	地区石	争未恢安 	(延長、数量等)	有 于平及[~令和13年度	令和14年度~
1	国道4号築館バイパス	築館赤坂~築館城生野	バイパス	7.0km	H7	•	-

2) 宮城県北部土木事務所栗原地域事務所所管事業

〈宮城県土木・建築行政推進計画(2021~2030) 令和3-12年度実施事業〉(橋梁、災害復旧、舗装補修等を除く)

	宗工小·连架们政推進計画(2021~2030) 节机			事業規模 (延長、数量等)	羊壬左由	実施予定時期	
番号	名称	地区名	事業概要		着手年度	~令和13年度	令和14年度~
11	道路改築事業(単独)/(国)457号	一迫西沢	現道拡幅	1.8km	R4	•	
12	道路改築事業(補助)/(主)築館登米線	栗原IC	IC	2.2km	H30	•	
13	道路改築事業(単独)/(主)古川佐沼線	瀬峰下富前	バイパス	2.0km		•	
14	道路改築事業(単独)/(国)457号	栗駒沼倉竹ノ内	現道拡幅	0.2km		•	
15	道路改築事業(単独)/(主)築館栗駒公園線	築館下宮野八幡下	バイパス	0.9km		•	
16	道路改築事業(単独)/(主)築館登米線	築館萩沢(荒川)	道路改良	0.85km	H27	•	
17	道路改築事業(防安交)/(一)若柳築館線	若柳川南	現道拡幅	1.32km	H27	•	
18	道路改築事業(単独)/(一)栗駒金成線	金成藤渡戸	交差点改良	0.12km		•	
19	道路改築事業(単独)/(主)河南築館線	築館八沢(竹の下橋)	道路改良	0.25km		•	
20	道路改築事業(単独)/(一)文字下細倉線	鶯沢南郷北沢向	現道拡幅	0.8km		•	
21	道路改築事業(単独)/(主)栗駒平泉線	栗駒沼倉東沼ヶ森	現道拡幅	1.8km		•	
22	道路改築事業(単独)/(主)河南築館線	瀬峰藤田	現道拡幅	2.0km		•	
23	道路改築事業(単独)/(主)栗駒岩出山線	一迫柳目持くれ沢	交差点改良	0.1km		•	
24	道路改築事業(単独)/(一)大鳥沢辺線	栗駒菱沼	現道拡幅	0.32km		•	

3) 市所管事業

< 栗原市ホームページ掲載都市計画道路事業>

番号		地区名	事業概要	事業規模 (延長、数量等) 0.32km	着手年度	実施予定時期	
田田石	名称 	地区有	尹未似安	(延長、数量等)	相 于 牛 及	~令和13年度	令和14年度~
101	(都)一迫南線	築館伊豆一丁目~三丁目	変則5差路の解消	0.32km	H27	•	
102	(都)駅前大通線	築館高田三丁目~内南沢	アクセス道路新設	0.59km	H27	•	

<宮城県道路整備プログラム 市町村事業編 令和3年3月 掲載事業>

道路事業予定箇所

	<u> </u>						
番号	名称	地区名	事業概要	_亜 事業規模	着手年度	実施予	定時期
笛ケ	石 柳	地区石	于未似女 	(延長、数量等)	相 丁 干 茂	~令和13年度	令和14年度~
1001	(市)栗原中央西線		バイパス	3.7km	H21	•	
1002	(市)大林線		橋梁更新	1橋	H25	•	

栗原市都市計画道路<長期未整備路線>

・現在都市計画決定されている道路のうち、長期未整備路線を抽出

表4-2 対象路線の抽出

	路線番号	名称	備考	図面番号
築館地域	3. 4. 3	一迫南線	一部未整備	1
*** *********************************	3. 4. 8	新山十文字線	一部未整備	2
若柳地域	3. 4. 7	石越駅四ッ谷線	一部未整備	3

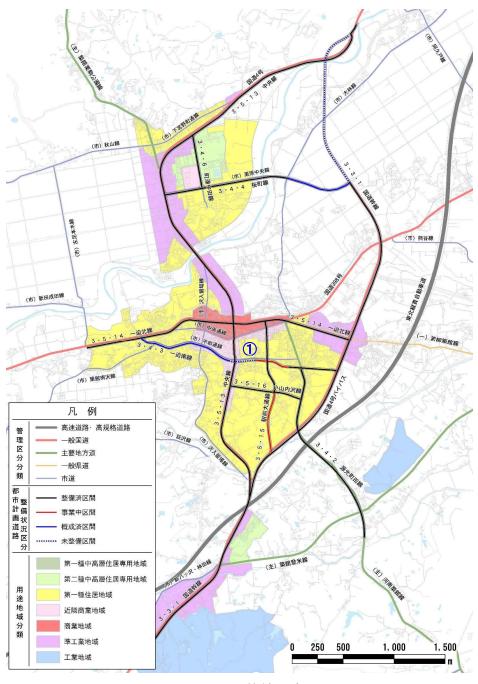


図4-3 築館地域

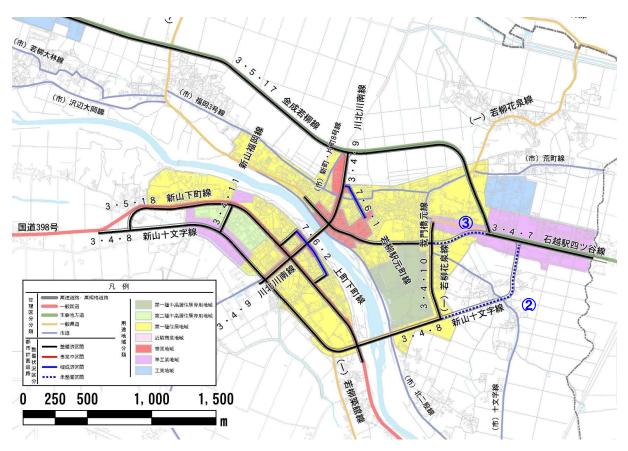


図4-4 若柳地域

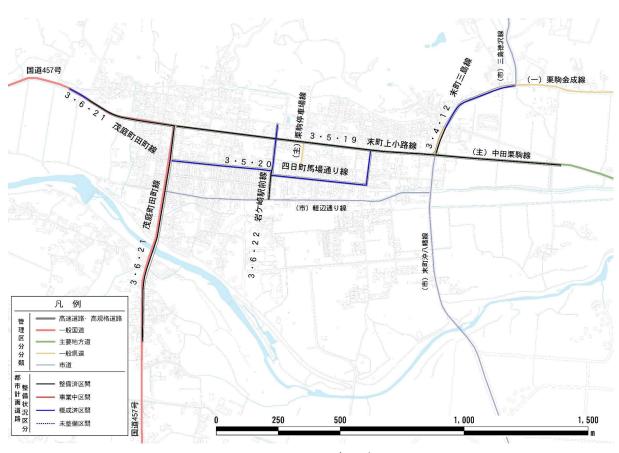


図4-5 栗駒地域

■整備計画路線(全体)

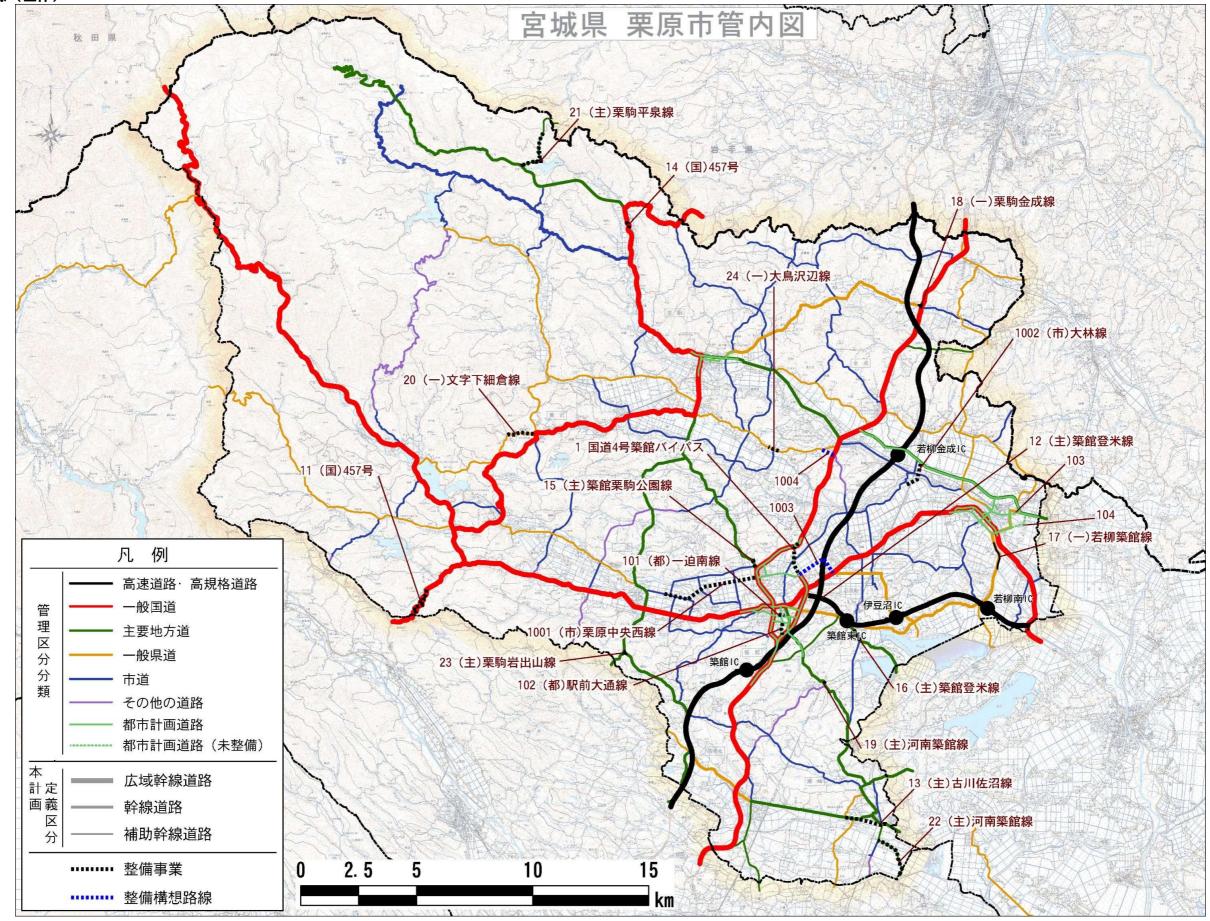


図4-6 整備計画路線(幹線道路、補助幹線道路)

4-3 道路整備の進め方

(1)整備推進の考え方

1) 基本となる整備目標(通年での整備目標)

安全・安心ネットワークの確立

① 広域的災害に対する安全性確保

本市は平成20年に岩手・宮城内陸地震、平成23年には東日本大震災と2度の大規模 災害に見舞われ、その都度主要な道路が寸断され西部中山間地域集落の一部が孤立化す るなどの被害が発生しました。

市域西部を東西に走る国道 398 号や国道 457 号、主要地方道は、栗駒山中山間地域に 点在する集落地と栗駒、花山、鶯沢、一迫など各地域の生活拠点を連絡する重要な道路 であり、こうした東西間の道路ネットワークは、災害時の緊急輸送のみならず、日常生 活や地域内の医療救急などにおいても重要な役割を果たす道路であり、常に欠かすこと のできない生活インフラであります。

さらに、築館地区など本市中央部には、広域的な医療救急拠点、消防拠点、行政サービス拠点など高次の都市機能が集積しており、安全・安心な地方生活圏を構成する上で、中央部と市域西部を結ぶ東西間道路の機能強化は重要な要素となります。

以上のことから、国道4号を南北の広域防災軸として位置づけ、主に点在する集落と 生活拠点間のネットワークの確保、また生活拠点と都市機能集積地との道路機能強化を 推進し、安全で安心な生活圏を維持します。

② 既成市街地内における安全性確保

既成市街地内において、火災時の延焼遮断や緊急車両の通行性、避難路の確保に対して重要な役割を果たす都市計画道路が決定されています。

都市計画道路は、日常生活圏における安全性の向上のみならず、建物が集積する市街地にあっては、通過型の交通の排除や、ゆとりある歩道幅員の確保など市民の日常的な行動を円滑にする役割を担っています。

本市の都市計画道路は、昭和 40 年代に計画決定されたものがほとんどであり、その後の市街地の変遷、社会経済情勢等の変化により、円滑に整備が進捗していない路線もあります。

日常生活圏の安全性確保の観点から、都市計画道路の早期な整備が重要です。一方で、 社会経済情勢等の変化により、都市計画道路ごとの必要性を再検証し、段階的に整備を 進めていくことが重要です。

以上のことから、早い段階から都市計画道路の必要性を再検証した上で、重要な道路 について早期道路整備を進めます。

2) 前期(概ね10年間)(~概ね令和13年度)の整備目標

コンパクトシティ・プラス・ネットワーク都市構造を支える道路網の確立

① 広域交通拠点を中心とした新たな都市軸の整備

東北縦貫自動車道築館 IC から三陸縦貫自動車道を連絡するみやぎ県北高速幹線道路が整備されており、現在市域東部において登米市と連絡するネットワークが確立されています。

市内に予定されている東北縦貫自動車道の(仮称)栗原 IC と築館市街地、若柳市街地、 東北新幹線くりこま高原駅周辺の市街地を効率的に接続することにより、広域交通の利便 性を活かしたまちづくりを進めていきます。

② 中核機能配置とコンパクトシティ・プラス・ネットワーク強化

都市計画マスタープランにおいて、東北新幹線くりこま高原駅周辺から築館宮野地区までの交通利便性の高いエリアに本市の中核的な機能の配置が構想されています。

また、都市計画マスタープランでは、市内の生活拠点を育成強化しつつ、効率的に連携するコンパクトシティ・プラス・ネットワーク型の都市構造の構築を目指すものとしています。(都市のコンパクト化・公共交通のネットワーク化)

以上の長期的な土地利用構想と、本市が目指す都市構造を確立するため、市内各地区の 生活拠点間や新たな都市拠点を効率的に接続する道路網の強化を進めます。

3)後期(令和14年度以降)の整備目標

本市における道路整備の進捗は近年成熟しつつあり、既存の道路整備事業の進捗度、社会経済情勢を鑑みると、後期(11年目以降)に計画されている新規道路建設は着手時期が不透明なことから本プランには記載しておりません。

なお、上位官庁(国、県)主導の道路事業が新規で行われる場合はこの限りではなく、 また次項で示すように通年での取り組むべき道路整備は目標として掲げることとします。

(2) 道路整備のシナリオ

	2) 追路登偏のシナリオ							
目標	基本(通期)目標:安全・安心ネットワークの確立							
	① 地方生活圏における安全性確保	②日常生活圏における安全性確保						
ネットワ	宮城県 栗原市管内図	宮城県 栗原市管内図						
ークイメ ージ	The state of the s	2 Diga						
		To the state of th						
		THE THE STATE OF T						
		The state of the s						
	☆ 広域防災軸	如 大						
	広域防災軸地域連携防災軸	都市計画道路を有する既成市街地						
	No.7 of over 10 and 10	Na 7 of contract of the contra						
内容	・国道4号築館バイパスなどの広域緊急輸送道	・既成市街地内における、災害時の避難経路、延						
	路の整備促進。	焼遮断機能を有する都市計画道路の優先的整						
	・災害時や救急医療面でネットワークが不足す	備。						
	る西部と広域防災、医療拠点である築館市街地	・社会経済情勢の変化を考慮した、各都市計画道						
	等との連絡性と中山間集落の孤立化回避に向	路の必要性再検証。						
	けた東西間機能の強化。							
主な整備	○国道4号築館バイパス整備	○長期未整備都市計画道路の必要性再検証						
路線	○市域西部の道路機能強化	○必要性の高い都市計画道路の優先的整備						
目標		ラス・ネットワーク都市構造を支える道路網の確立						
	<u> </u>	@						
	①広域交通拠点を中心とした新たな都市軸の整	②中核機能配置とコンパクトシティ・プラス・ネ						
5 L \Box	備	ットワーク強化						
ネットワークイメ								
ークイメ	備	ットワーク強化						
	備	ットワーク強化						
ークイメ	備	ットワーク強化						
ークイメ	備	ットワーク強化						
ークイメ	備	ットワーク強化						
ークイメ	備	ットワーク強化						
ークイメ	備	ットワーク強化						
ークイメ	備	ットワーク強化						
ークイメ	備	ットワーク強化						
ークイメ	備	ットワーク強化 宮城県 栗原市管内図						
ークイメ	備	ットワーク強化 宮城県 栗原市管内図 新たな都市軸						
ークイメ	備 宮城県 栗原市管内図	ットワーク強化 宮城県 栗原市管内図						
ークイメ	新たな都市軸	ットワーク強化 宮城県 栗原市管内図 新たな都市軸						
ークイメ	備 宮城県 栗原市管内図 新たな都市軸 都市拠点	ットワーク強化 宮城県 栗原市管内図 新たな都市軸 都市拠点						
ークイメ	備	ットワーク強化 宮城県 栗原市管内図 新たな都市軸 都市拠点 ・東北新幹線くりこま高原駅周辺から築館宮野地						
ークイメ	### ### #############################	ットワーク強化 State						
ークイメ	#	ットワーク強化 ****						
ークイメ	# またな都市軸 都市拠点 ・(仮称) 栗原 IC と既成市街地を効率的に連絡する道路や自動車専用道からの通過交通を市街地外側において処理する道路など、広域交通網の利便性を高める道路ネットワークを構築。 ・東北新幹線くりこま高原駅周辺の市街化ポテンシャルの向上を踏まえて東西間の連絡道路	ットワーク強化 「宮城県 栗原市管内図 新たな都市軸 都市拠点 ・東北新幹線くりこま高原駅周辺から築館宮野地区までのエリアに中核機能を配置。 ・中核機能の配置と併せて国道 398 号の機能強化を図り、拠点間の連絡性を強化。 ・また、各地域拠点の機能強化によりコンパクトシティ・プラス・ネットワーク都市構造を形成						
ークイメ	#	ットワーク強化 State						
ークイメ 一ジ 内容	#	ットワーク強化 「宮城県 栗原市管内図 新たな都市軸 都市拠点 ・東北新幹線くりこま高原駅周辺から築館宮野地 区までのエリアに中核機能を配置。 ・中核機能の配置と併せて国道 398 号の機能強化を図り、拠点間の連絡性を強化。 ・また、各地域拠点の機能強化によりコンパクトシティ・プラス・ネットワーク都市構造を形成するとともに、拠点地域を結ぶネットワークを強化。						
ークイメ	# またな都市軸 都市拠点 ・(仮称) 栗原 IC と既成市街地を効率的に連絡する道路や自動車専用道からの通過交通を市街地外側において処理する道路など、広域交通網の利便性を高める道路ネットワークを構築。 ・東北新幹線くりこま高原駅周辺の市街化ポテンシャルの向上を踏まえて東西間の連絡道路	ットワーク強化 State						

4-4 整備推進時期の設定

広域幹線道路については、国及び県の道路の事業スケジュールを考慮して、整備時期を区分しました。

市道及び都市計画道路については、交通マスタープランに示された施策との整合性や事業進捗状況、道路整備を取り巻く周辺環境等を考慮し、整備時期を次のとおり区分しました。

表 4 - 3 整備推進時期

衣4-3 登傭推進時期								
番号	数准认而收缩力许	豆厶		時期	備考			
日 日 日	整備計画路線名称	区分	前期	後期	加考			
			(令和13年度迄)	(令和14年度以降)				
1	国道4号バイパス				バイパス			
11 · 14	国道457号				現道拡幅			
12 · 16	主要地方道 築館登米線				IC、道路改良			
13	主要地方道 古川佐沼線				バイパス			
15	主要地方道 築館栗駒公園線				バイパス			
19	主要地方道 河南築館線				道路改良、現道拡幅			
21	主要地方道 栗駒平泉線	I X.E			現道拡幅			
23	主要地方道 栗駒岩出山線				交差点改良			
17	一般県道 若柳築館線				現道拡幅			
18	一般県道 栗駒金成線				交差点改良			
20	一般県道 文字下細倉線				現道拡幅			
24	一般県道 大鳥沢辺線				現道拡幅			
101	3.4.3一迫南線				変則 5 差路の解消			
102	3.4.15駅前大通線	都市計画道路			アクセス道路新設			
103	3.4.7石越駅四ツ谷線							
104	3.4.8新山十文字線							
1001	市道 栗原中央西線				バイパス			
1002	市道 大林線	市道			橋梁更新			
1003	市道 栗原中央線	112年						
1004	宇南姉歯線(広域)							